

# 八乙女

老いた松重みに耐えし雪払う

そと吉



## 婦人会雑感

南山見婦人会

会長 小橋 芳江

新春を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申しあげます。

さて、最近の社会状況は、予想もしなかったことが多々起こり、解決に向けて「知恵を出し合って進む」ことが望まれる昨今です。地域においてもその時代毎の問題もあり、各団体においてもご苦労しておられることと  
思います。

私達の婦人会活動においても、

### ① 会員の減少

よる婦人会はなれ

などの問題をかかえており、会員の不満も理解しながらも答えが見つけられない状況です。では、「婦人会結成の原点は何か」とみてみると、「親睦や隣同士の助け合い」を目的として結成された地域の婦人の団体ということが記されてありました。

地域の婦人が仲良く手を取り合ってやっていこう…… ということだと思われれます。

地域ともかかわり合いながら、今までに知己になった、また、これから知り合いになる人、人、人を大事にして、話し合いながら進んでいく団体でありたいと思います。

それで地域に貢献できたら、最高です！

# 赤年の

## 新春を迎えて



### ことしの思い

高嶋 克海

(平成三年生)



今年はいよいよ中学生となり、六年間の小学校生活ともおわかれです。小学校での六年間はとても短く感じられました。

ぼくは、今までテニスをやっていたので、中学校でも続けたいと思います。

中学校へ行っても、小学校生活の中で学んだことを大切にし、生かしていきたいと思っています。

### 日々向上

箭原 康人

(昭和五十四年生)



二〇〇三年は、鉄腕アトムが誕生した年で

す。マンガと同じように、自動車や人型ロボットが空を飛ぶことはないとしても、科学・工学技術の進歩には、目を見張るものがあります。

私は今、大学で医学を学んでいます。医学の世界も、日々変化し新しい考え方が生み出されています。

この日進月歩する時代の中で、常に自分を見失わず、さらに向上していけるように、日々努力していきたいと思っています。

### 今一度

銅 明浩

(昭和四十二年生)



来年は年男か、と思いつつ昨年の年暮は、

年賀状を書いていました。あつという間の三十六年でしたが、色々なことがたくさんあり、数多くの人々にも出会いました。

人生、中盤に差し掛かり、社会的地位や責任の重さも高まりつつある頃だと思えます。これから益々厳しくなる世の中で、自分は何をすべきなのか、また、何が出来るかを今一度よく考えて、実践実行できる年にしていきたいと思っています。

### 自分らしく

谷川 為晴

(昭和四十二年生)

もう三十六才ですか。まだ二十五・二十六才のような感じですけど。



ぼくが小さかった頃に比べると、色々変わりました

ね。区画整理もされていらない頃、家も古く、横には小川が流れ、そこには「カニ」もいて、田んぼには「たにし」や「赤とんぼ」がたくさんいて、兄弟ゲンカはあったものの、明るくのんびりしてほのぼのと暮らしていたように思います。昔は……。

はっ!! 年寄りみたいのことを書いています。年は気にせず、むだな時間を作らないよう今を大切に生きていだけだ。

### これからの自分

山崎美知子

(昭和三十年生)



早いもので、二十歳で結婚、生まれ育った

北の大地を後にし、ここでの生活が長くなりました。ここで振り返ると、慣れない所で暮らして、自分が自分で無

### 堅い頭を柔らかく

田村 裕 嗣

(昭和三十年生)



今年で四巡目の未年を迎えました。日頃はあ

まり考える機会がありませんが、改めて自分の足跡を思い返しています。

家庭では三児の父となり、職場では先輩の人数より後輩のほうが多くなって年長組の仲間入り。この節目の年に自分の責任を再確認して行動出来るようにしたいものです。

また、最近だんだん堅くなってきた頭を少しでも柔らかくして、柔軟な考え方が出来る

ようにしていききたいと思っております。

### 満足のいく人生を

田中久美子

(昭和三十年生)



今年で四回目の干支を迎えました。

仕事に

追われる日々、家族に支えられて頑張っています。仕事では、お客様に満足していただくよう努力していますが、自分も仕事に自信を持ち、満足出来るよう充実した年になりたいと思っています。

人生八十年、これからです。

夢と希望を持ち、健康で自分が満足のいく人生を送れたらと願っています。

### やさしい思いやり

武田東洋子

(昭和十八年生)

人生折り返しも過ぎ、二〇〇三年「羊年」の節目の年を



迎え、家族、地域社会の皆様が助けられ今日の自分が

あると改めて感謝致しております。

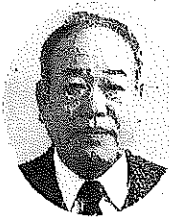
私はボランティア活動を通じて色々な方と携わってまいりましたが、ほんの少しのお手伝いで大変喜んで下さって「有り難う!! 助かったわ!!」の声に励まされ、今日まで奉仕活動をさせていただきま

した。これからもボランティア活動を通じて「やさしい思いやり」の心を忘れず、明るく住み良い町作りに貢献出来たらと思っています。

### 未年に思う

須川 勲

(昭和十八年生)



輝かしい新春を迎え、五回目の未

年を迎えられたことは大変嬉しく思います。

二年程前、私は脳梗塞となり入院しました。手足に障害はなかったものの、言葉の不自由さは残りました。言葉が思うように出ないのはがゆさを感じながらも、周りの人の励ましに支えられ今日までこれたことを、感謝していま

す。これからは無理をせず、仕事や地域の活動をしていきたいと思っています。

### より善く生きる

山崎 俊 樹

(昭和六年生)



この世に生を受けて六回目を迎えます

せて頂いたことに感謝するものです。

羊という字はめでたいとされており、羊に大を付けると「美」また「善」という字にもなります。宇宙大自然の恵みと善い社会の中に生かされてのお陰様と感謝でございます。

あれもこれも欲求はありますが、これで良しとし、今

あることに感謝して、人世の出会い一期一会を大切に、生かされている今を美味しく頂き善い生き方に希望をもち、感謝の人生を送りたいと思います。

### 第三の人生スタート

田村 一 雄

(大正八年生)



大正・平成の時代を生き、七度目の

年男を迎えました。中でも戦争の時代はつらい思い出です。会社定年後の第二の人生では、シルバー人材センター設立時に入会し、度々の技能講習で色々なことを学びました。趣味としては、ゲートボール・ペタンク・マレットゴルフなどで多くの仲間と親交を持つことが出来て感謝しています。特に親善ゲートボール大会でハワイまで行って試合をしたことは最高の思い出です。

今では腰も曲がり、耳も遠くなり家族に迷惑をかけぬように心がけて心身の健康と生

きがいのため、気の向くままに畑の手入れなどを行い、毎日毎日を感謝の気持ちで暮らしています。

### 日々感謝

高 田 シ ゲ

(明治四十年生)



明けましておめでとうございます。月日の経

つのは早いもので、私は八回目の羊年を迎えることができました。これも神様、仏様、そして家族一同と皆様方のお陰様だと戴いております。私が楽しみにしていることは、大輪の花を咲かせてくれる菊の世話をしたり、日曜日にはお寺へ参らせて戴くことです。健康で日々の生活が出来るのもお陰さまだと感謝し、今年も続けていこうと思っております。どうぞよろしく願います。

# 第25回 地区八乙女文化祭



第二十五回八乙女文化祭は十一月十日に開催されました。

各種団体出店の模擬店から威勢の良い掛け声を押し入れ館内に入ると、見事な農産物の品評会、各種団体の作品展示がずらり！

また、ステージではかわいい園児の発表から始まり、各地区児童の趣向を凝らした発表や各クラブの練習の成果発表。そして館前では強烈な「ロックバンドライブ」も大変盛り上がり、盛りだくさんの文化祭となりました。

当日は、この季節にしては近年にないポカポカ陽気で天候にも恵まれ、お陰でたくさんの方々に足を運んで頂き、一日たつぷり楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

とても有意義な楽しい文化祭となりました。  
(児童クラブ 松井三良記)



## 花だんづくりとクリスマス会



十二月八日、児童クラブと母親クラブによる花壇作りおよびクリスマス会が行われました。

今年から全児童が「花とみどりの少年団」に入団し、雪が降る中「花と緑の銀行」の方々のお世話を頂きながら花壇に球根を植えました。子供達は春にはどんな色のチューリップが咲き並ぶのか楽しみにしているようでした。

またクリスマス会では、児童がそれぞれクリームや果物などを工夫して盛りつけたケーキを、皆で会食しました。ピンゴゲームそしてサンタさんからのプレゼントを頂き、楽しいホワイトクリスマス会を過ごしました。



年々児童が減少する中で、児童クラブの活動がこれからもこの明るく素直な子供達のため、未永く続くことを願っています。

(児童クラブ 山本孝夫記)

# まちづくりを語る会



十二月二日、南山見公民館和室において、「まちづくり」を語る会が開催されました。地区自治振興会・公民館共催で毎年この時期に行われますが、今年は市町村合併問題もあり約八十名の参加がありました。

清都町長から今年度の事業や合併問題の現在までの状況報告の後、来年度以降予定している事業として、特養・病院・マーシ園の増改築、公営

住宅の建設、県道改良事業、下水道整備、木彫刻キャンプの開催、田園空間整備事業、小中学校耐震調査などについて説明がありました。

その後、参加者から要望や質問・提言がされ、活発な意見交換の場となりました。

主な内容は次のとおりです。

- ・農道、林道の整備、舗装について
- ・養豚団地問題について
- ・不動産周辺整備について
- ・議員定数問題について
- ・斎場計画について
- ・学校のゆとり教育について
- ・戸板団地の今後の計画について
- ・合併の枠組みについて

また、合併の方向性が決まったことから、十九日には、南山見地区合併懇談会が開催され、清都町長から、砺波市、庄川町を除く砺波広域圏八町村で任意協議会を設置することについて説明がありました。

砺波市からの誘いを断わった経緯や、新庁舎を作らず、分庁方式を考えていること、そして職員は急激に減らさず、

## 新年の集い



恒例の南山見地区「新年の集い」が一月四日公民館で行われました。

開催に際し、澤田自治振興

会副会長は、昨年を顧みますと、景気の長期低迷、金融不安に加えて雇用情勢も深刻化しているさなか、富山県出身の田中耕一さんがノーベル化学賞を受賞されたことはとても「明るいニュース」と挨拶を述べられた。

つづいて、清都町長より、今年は課題となつている市町村合併問題、井波総合病院の増改築工事並びに公営住宅整備事業などに取り組んで行きたいと挨拶され、島田議長、町三役、山本綿貫後援会長ほか一〇〇名近い地元参加者で乾杯し、賑やかに新年を交歓した。

(前川哲郎記)

十年から十五年かけて三分の一程度まで徐々に削減していきたいとの考えを示しました。

また、澤田町議からも、議会合併問題検討特別委員会で協議された内容などこれまでの経過報告がありました。

今後、法定協議会設置に向け、まだまだ解決しなければならぬ問題も山積していますが、十分検討し、井波としての自主性を発揮し、より良い町づくりを期待します。

(事務局)

## 受賞のよろこび

- ◎ 青少年育成県民会議会長表彰  
青少年育成井波町民会議南山見支部
- ◎ 富山県農村文化賞  
院 瀬見 営 農 組 合
- ◎ 富山県老人クラブ連合会長表彰  
院 瀬見 老人クラブ

御寄付  
一、金二万円也  
女性セミナー様  
ありがとうございました

## 地区ビーチボール大会

第19回南山見地区ビーチボール大会が十一月二十五日より四日間に行われました。今年の大会も選手四名の合計年齢が一八〇才未満の部と一八〇才以上の部に分けられ、楽しい大会になりました。参加チームは十七チームでした。

成績は以下のとおり。

優勝	清玄寺	チーム
次勝	沖	チーム
参勝	谷	チーム
一八〇才以上の部		
優勝	沖	チーム
次勝	谷	チーム
参勝	里領	チーム

(事務局)

# 成人特集



篠原哲央さん

成人をお迎えの皆さんおめでとうござります。井波町成人式は、一月十二日に文化センターにて盛会に、そして華やかに行われました。当地区の篠原哲央さんが交通安全宣言を力強くされました。また、成人の集いは、新成人の皆さんの企画、進行で行われ、高橋雄大さんが「ドリームズ・カム・トゥルー」と題して抱負を述べられました。小学校、中学校の思い出がスクリーンに映され、恩師の先生よりお祝いの言葉を頂き、心に残る成人式だったと思います。今年も公民館よりお祝いとして辞典をお贈りいたしました。(事務局)

## ドリームズ・カム・トゥルー

高橋 雄大

私は、一九八三年三月四日に四一三九グラムで生まれました。両親の大きく育って欲しいという願いから、雄大と名付けられました。私は、この名前が大好きですし、いつかこの名前に負けないくらい、大きな人間になりたいと思います。

私は今、アメリカのニューヨークへ留学し、英語を学んでいます。留学しようと思っただきつけは、二年前、ニューヨークへ旅行に行ったことです。ニューヨークには、すでに兄が留学していたので、旅行中、一緒にいる時は不自由がなかったのですが、兄がいなくても何とできない自分、とてもシヨックを受けました。小学校の時から、野球しか

真剣に取り組んだことがありませんでした。周りのことは何も知らなくても、野球をやっていたら、周りの人達にも認められ、学校を普通に卒業することができましたから、自分自身もそんなもんだと思っています。

しかし、ニューヨークへ旅行に行った時に、初めて自分のちっぽけさと、それまでの生活に満足していた自分に気づき、恥ずかしく思いました。そんなことがあって、自分を変えたいという気持ちはずつと芽生え、自分以外頼るものがないニューヨークで、いろいろなことに挑戦し、自分がどれだけの人間かを確かめてみたいと思うようになったのです。

ニューヨークに滞在して四ヶ月目になりますが留学したことは、自分にとってプラスになっていると思っています。見るもの、感じるもの全てが新鮮で、自分の中に自然に取り入れることができます。とはいっても、ニューヨークでの生活には、



高橋雄大さん

言葉の問題や生活習慣の違いなど、数々の問題があります。その中には、すぐに解決できるものと、そうではないものがあります。しかし、ニューヨークでの生活は自分が選んだ道なので、苦には感じていません。

今日、成人式を迎えたわけですから、本来なら一人前の大人として両親を支えていかなければいけないことは自覚しているつもりですが、留学していることもあって、金銭面など両親に迷惑ばかりかけています。しかし、近い将来、両親からもらった雄大という名前に負けない大きな人間になつて帰国し、苦勞をかけてきた両親を支え、幸せにしてあげたいと思っています。

私の好きな「ドリームズ・カム・トゥルー」という言葉があります。私はいつか、自分の夢を、自分自身の手でかなえていきたいと思っています。本日は、どうもありがとうございました。

## 新成人のみなさん

- |       |       |       |    |    |    |    |
|-------|-------|-------|----|----|----|----|
| 美央朗   | 大子希治  | 昭子    | 美江 | 泰実 | 紀  |    |
| 奈哲    | 知雄    | 愛亜    | 健吉 | 智直 | 圭弘 | 由有 |
| 真原    | 田橋    | 本田    | 恵田 | 本真 | 倉橋 | 倉本 |
| 高篠    | 松高    | 山澤    | 久前 | 山朝 | 小松 | 朝山 |
| 院瀬見第一 | 院瀬見第二 | 院瀬見第四 | 寺寺 | 板領 | 沖  |    |
| 清連    | 玄代    | 谷     | 戸  | 里  |    |    |

## お知らせ

2月16日(日)午前9時より  
第14回 二世代  
交流の集い

## 編集後記

今年の正月、風邪をひき寝込んでしまったので、退屈凌ぎに童門冬二作「徳川三代の人間学」(NHK人間講座)を読みました。この書は、家康の類いまれなる人材活用術と経営戦略、凡庸なる二代目とされてきた秀忠の知られざる凄み、生まれながらの將軍・家光による組織の完成などを、史実に照らし現代風に描き出している。

そして作者は、家康の戦略は、生地で培った「あゆみ思想」と人質時代太原雪斎和尚を師とし、座右の書として愛読した「貞観政要」「孟子」「吾妻鏡」「孫子」「六韜三略」などから学び取って行ったと述べている。大転換期を迎えている今日、先人や歴史の中に何か知恵を見出せないものだろうか。(なやめる蛙)

南山見人口	
男	574人
女	637人
計	1,211人
平成14年12月31日現在	